

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 (ウ) → (イ) → (ア)		5
	2 記号オ	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	理由 表中のオは、ア～エと異なり一貫して工業生産が増大していることから、経済的に資本主義世界との交流が少なく、世界恐慌の影響をほとんど受けなかった、計画経済の下で工業生産を増大させていった社会主義国のソ連だと判断できるため。		
	3 (エ)		6
	4 (ア)		6
	5 エ		5
	6 源頼朝以来の先例や、「どうり」と呼ばれた武士社会での慣習・道徳に基づいた基準を法令として定めることで、御家人同士や御家人と荘園領主との間の紛争を公平に裁く基準を明らかにするため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	7 ア		6
	8 ウ→ア→イ→エ		6
	9 エ		5
	10 記号A	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	6
	理由 Aは、駅の構内をはじめ市街地内に広く分布して立地しているため、百貨店やショッピングセンターよりも、店舗面積が小さく店舗数の多いコンビニエンスストアと判断できる。		
11 太平洋熱帯域を西向きに吹く貿易風が平常時よりも強くなり、インドネシア付近に暖かい海水をより厚く蓄積することで、積乱雲が発生しやすいため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10	
12 イ		5	
2	1 (ア)		5
	2 黒死病（ペスト）によって農業人口が減少したことから、領主が、荘園での労働力を確保しようとして農民の待遇を向上させたため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	3 マグナ＝カルタにおいては、教会の自由や権利を認めるとともに、その後の身分制議会の前身となる全般的諮問会の位置付けが明記されており、そこではすでに聖職者や貴族を構成員とすることや、彼らの承認なしに軍役代納金や御用金などの課税が行えないなどの、聖職者や貴族の権利を守る規定が示されていたため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	4 エ		5
3	1 この城下町では諸役等が免除されることや、徳政令が出されても債権が破棄されないということ。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	6
	(1) 経済活動が活発になり、東日本で主に取引に用いられていた金貨と、西日本で主に取引に用いられていた銀貨を両替する必要性が増大したため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	8
	2 (2) 武士が知行地に住んでいた中世には米を売らずに生活できたが、近世に入って武士が城下町に集住するようになった上に貨幣経済が進展したことによって、武士は米を売って商人から物を買う生活を送らなければならなくなり、商人との力関係が相対的に低下したため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	3 ウ		6

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1	〔0度の等値線をかき入れるに当たっての条件〕 ・氷点下の気温の気象観測地点と0度より大きい気温の気象観測地点を結ぶ間を通過していること。 ・0.0度の気温の気象観測地点上を通過していること。 ・上記の条件でかき入れることができる線を新潟県内全域においてかき示していること。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	7
	2	イ		7
	3	海から離れて内陸部に避難しようとしていることは評価しつつも、たとえ内陸部でも津波は河川を遡上して、被害をもたらす可能性があるため、避難中に河川を横切ったり、河川に近づいたりすることは危険であることを確認させ、津波発生の可能性があるときには、 A のように海や河川に近づかずに、標高の高いところへ避難するような指導をする。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	4	<p>地図 著作権保護の観点により、掲載いたしません。</p> <p>理由 X国内では、首都と南東端に位置する都市が、いずれも空港をもつ交通の拠点と考えられる。そこで、この島国の両端に位置する二つの都市の間を、標高の高い山岳部を避けながら、1,000km以内で、できるだけ多数の都市や港湾を結び付けるように高速道路を建設することによって、国内の道路交通網を整備し、陸海空の社会資本を結び付けることで経済活動の振興を図ることができると考えられるため。</p>	地図と理由がともに合っているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていけば、内容は異なってもよい。	6
			30	

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1	資料Ⅰからは、国書を明の皇帝に献じ、過去の例に従った国交を結ぶ意を伝えていることが分かり、資料Ⅱからは、明の皇帝から「日本国王」の称号と「大統曆」を与えられたことが分かる。これらのことから、この人物が明と結んだ外交関係は、当時の日本が明の冊封体制下に入り、明に臣下の礼をとる朝貢外交であったと考えられる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	着 目 点	問題に誤りがあったため、掲載いたしません。 なお、すべての受験者に対し、正答として扱うこととします。		5
	2	指 導	問題に誤りがあったため、掲載いたしません。 なお、すべての受験者に対し、正答として扱うこととします。	5
6	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を(1)から(3)の三つの目標を通して育成することを目指しているということが示されている。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	